

授業科目名： 保育内容の指導法 (健康)	教員の免許状取得のため の 必修科目	単位数： 2単位	すみもと あつし 担当教員名：住本 純
			担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報通信機器及び教材の活用を含む。)		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「健康」のねらい・内容等について理解する。</p> <p>(2) 幼児期は、生涯にわたって必要となる健康な心と身体の基盤をつくる時期と捉え、幼稚園生活における「健康」の実際と指導法について理解する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>社会生活や環境などの変化により、子どもたちが健康な心と身体を育むための機会が減少しているように感じることもある。ここでは「健康と他領域との関係性」や「子どもの健康と環境構成」に着目しながら、保育者が担う役割と関わり方を学ぶ。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本</p> <p>第2回：領域「健康」のねらい・内容と他領域との関係性</p> <p>第3回：子どもの基本的な生活習慣</p> <p>第4回：子どもの健康と食習慣の形成</p> <p>第5回：子どもの健康と遊びの指導における情報機器及び教材の効果的活用①</p>			

～興味・関心、いろいろな遊び

第6回：子どもの健康と遊びの指導における情報機器及び教材の効果的活用②

～保育者の援助留意・配慮事項

第7回：子どもの健康と環境構成の指導法①～安全（情報通信技術及び教材の活用を含む）

第8回：子どもの健康と環境構成の指導法②～保育の工夫とは（情報機器及び教材の活用を含む）

第9回：子どもの生活習慣の形成と指導法①～生活のリズム（情報機器及び教材の活用を含む）

第10回：子どもの生活習慣の形成と指導法②～気づきと獲得（情報機器及び教材の活用を含む）

第11回：子どもの健康と安全教育

第12回：保育指導における評価

第13回：保育指導案の構成と作成

第14回：模擬保育と振り返り

第15回：幼児教育の現代的課題と「健康」

定期試験

スクーリングでの学修内容

スクーリングでは第12回～第15回を中心に取り上げる。

アクティブラーニングの手法も用いて実施

教科書

文部科学省『幼稚園教育要領解説（平成30年3月）』フレーベル館

参考文献

前橋明 編著 『コンパス保育内容健康』 建帛社

学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。